

2024年3月13日

受益者のみなさま

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

ご保有の投資信託
「ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)〈愛称:夢こよみ〉」
についてのお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、受益者のみなさまにご投資いただいております「ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)〈愛称:夢こよみ〉」は、2024年5月13日をもちまして運用終了期日の前倒し(繰上償還)(以下、「繰上償還」ということがあります。)を実施する予定です。

この繰上償還につきまして、法令等に基づき書面による決議を経て実施いたします。

つきましては、本書面および「書面決議参考書類」(賛成/反対の意思の表明に関して参考となる事項を記載した書類)をお読みいただき、繰上償還に関する決議の賛否および必要事項を同封の「議決権行使書面」(繰上償還について賛成/反対を表明する書面)にご記入の上、弊社宛にご返送いただきますようお願い申し上げます。

何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1.お知らせしたいこと

運用終了期日の前倒し(繰上償還)について

2.お願いしたいこと

運用終了期日の前倒し(繰上償還)についての賛成/反対のご判断



賛成の方



特に必要なお手続きはありません。
「議決権行使書面」をご返送いただく
ない場合は賛成するものとみなします。



反対の方



「議決権行使書面」に反対される旨をご記入
の上、弊社宛にご返送ください。

以上

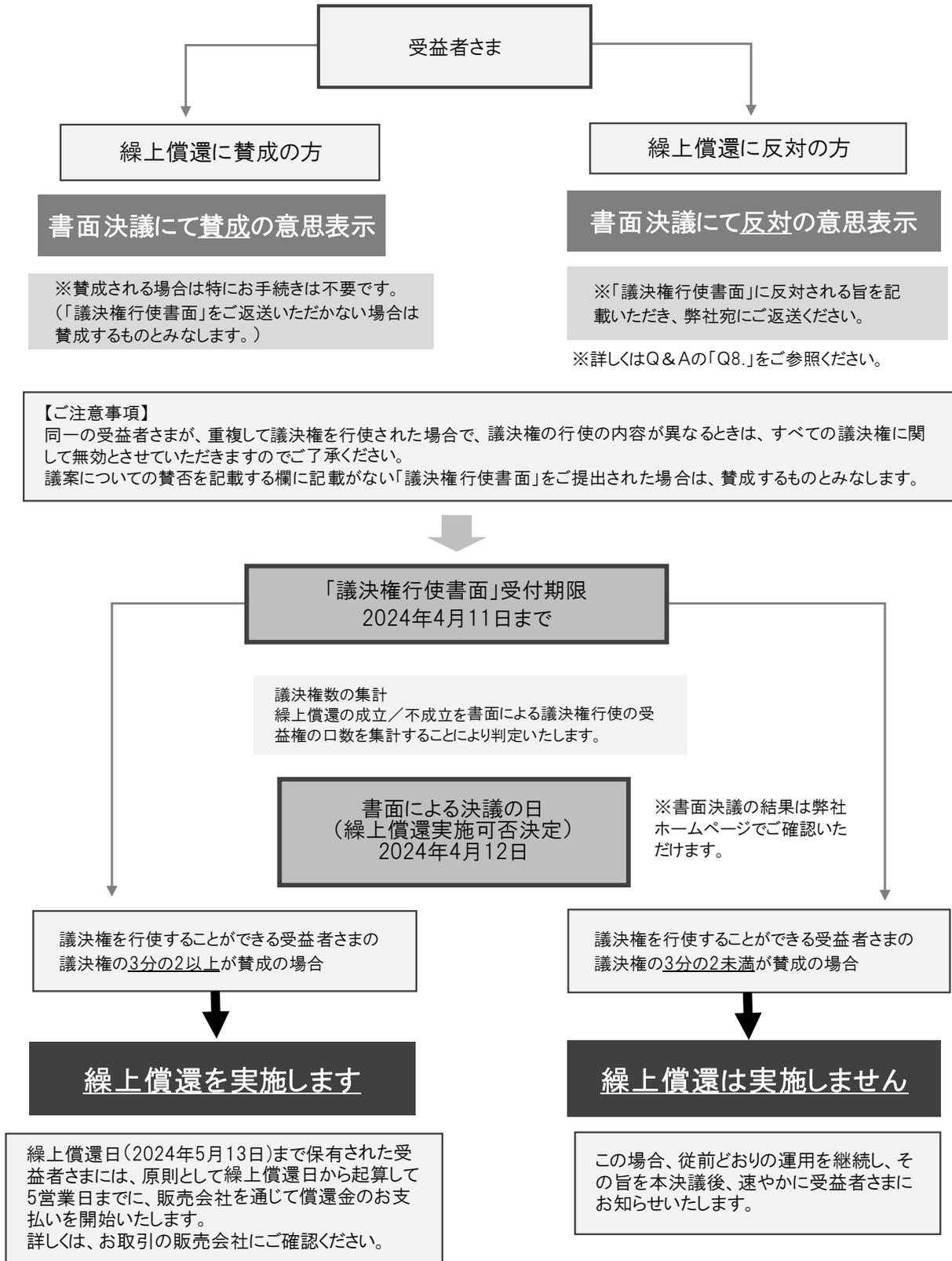
このお知らせに関するお問い合わせ先

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 お客様専用フリーダイヤル **0120-548066**

【受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)】

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

「書面決議」手続きの流れ



「ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)〈愛称:夢こよみ〉」

繰上償還に関するQ&A

Q1.なぜ運用終了期日の前倒し(繰上償還)を行うのですか？

A1. 当ファンドが投資対象としている新興国の多くは、これまでと比較して経済成長率等の経済指標が全般的に低下傾向にあり、今後さらに悪化が見込まれる指標も多く示されています。そのため当ファンドのファンドの特色に定めている「相対的に利回りが高く」、「質の高い成長が期待される」ことの両立が困難な状況下、魅力的な対象国が見出し難い状況となっております。

加えて、当ファンドの純資産残高(5.5億円(2024年1月31日時点))は解約による減少傾向が続いており、運用に支障をきたすと考えている水準(5億円程度)に近づきつつあります。

弊社といたしましては、このまま運用を継続するより、今後の継続的な価値提供が難しいことや純資産残高等の水準を勘案し、繰上償還を選択することが受益者さまにとって有利であると判断いたしました。

何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Q2. 残高が少ないと、なぜ運用に支障をきたすおそれがあるのですか？

A2. 純資産残高が少ないと、商品性に定める基本投資比率や、最小売買単位等の要件を満たせず投資ができなくなることや、マーケットの標準的な取引金額よりも少額での取引となるため、取引コストが増加する等のデメリットがあります。

Q3. 繰上償還日までのファンドの見通しについて教えてください。

A3. 引き続き、商品性に基づき、メキシコとインドネシアの2カ国で、5:5を基本投資比率とする運用を継続し、償還日が近づいた時点で償還に向けた資金化を行う方針です。

メキシコは米国の金融政策の影響を受けやすく、インドネシアも自国通貨ルピアの下支えのための利上げを行うなど、先進国の金融政策やリスクセンチメントの影響を比較的受けやすい国と考えています。

金融市場の焦点は米国や欧州の利下げで、世界経済のソフトランディングが実現できるかが焦点になります。また、2024年は米国大統領選を控え、国際情勢は不透明感が高い状況が続きやすい環境にあります。

そのため、主要国・投資国の金融政策の緩和方向への転換は、投資国やファンドのパフォーマンスにとって追い風となると見られます。一方、米欧の利下げタイミングに不透明感がある中で、地政学リスクや日銀の金融政策の正常化観測の高まりなどにより、投資国通貨が相応に調整する可能性は残存しています。

Q4.何か手続きが必要ですか？

A4. 繰上償還に賛成の場合はお手続きの必要はありません。

本決議におきましては、議決権(決議の権利)を行使されない場合(「議決権行使書面」をご返送いただかない場合)は賛成するものとみなします。

繰上償還に反対の場合は、「議決権行使書面」に反対される旨をご記入の上、弊社までご返送ください。

議決権行使の権利者は、2024年3月14日時点で当ファンドを保有されている受益者さま（2024年3月8日の購入申込者を含みます。）です。書面決議の手続きは、Q8の「書面決議はどのように行うのですか？」をご参照ください。

Q5. 繰上償還が実施されるかどうかはどのようにして知ることができますか？

A5. 2024年4月12日に書面決議の受益権の口数を集計し、議決権を行使できる受益者さまの議決権の3分の2以上の賛成をもって可決されます。

上記の議決権口数による賛成を得られず本決議が否決された場合は、当ファンドの繰上償還は行いません。この場合、従前どおりの運用を継続いたします。

書面決議の結果は、弊社のホームページで公表いたします。

繰上償還にかかる今後の日程は以下のとおりです。

○今後の日程

① 「議決権行使書面」受付期限日付	2024年4月11日の弊社到着分までを有効とさせていただきます。
② 書面による決議の日 (繰上償還の可否が決定される日)	2024年4月12日
以下では繰上償還が成立した場合についてご説明させていただきます。	
③ 申込(購入・換金)受付最終日*	2024年5月8日 ※販売会社によっては申込受付最終日より前に申込(購入・換金)受付を中止する場合があります。 ※午後3時まで受付可能です。
④繰上償還予定日	2024年5月13日

Q6. 繰上償還が決まった場合、償還までの運用はどうなりますか？

A6. 繰上償還が決まった場合は、繰上償還日に向けて、組入資産を売却し資金化を図ってまいります。

繰上償還が決定してから償還日までの間も基準価額は変動いたしますが、組入資産を売却後、基準価額は投資対象資産の値動きを反映しなくなりますので、ご注意ください。

Q7. 償還金はいつ受取ることができますか？

A7. 償還金は繰上償還後、速やかにお取引の販売会社よりお支払する予定です。詳しくは、お取引の販売会社にご確認ください。

Q8. 書面決議はどのように行うのですか？

A8. 本状に同封いたしました「議決権行使書面」に、当ファンドの繰上償還について賛成または反対される旨等をご記入の上、ご郵送ください。2024年4月11日弊社到着分までを有効とさせていただきますので、余裕をもってご郵送くださるようお願いいたします。

なお、本決議におきまして議決権を行使されない場合(「議決権行使書面」をご返送いただかない場合)は賛成するものとみなします。

【宛先】

〒105-7320 東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング
三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 繰上償還担当宛

【ご注意事項】

同一の受益者さまが、重複して議決権を行使された場合で、議決権の行使の内容が異なるときは、すべての議決権に関して無効とさせていただきますのでご了承ください。

議案についての賛否を記載する欄に記載がない「議決権行使書面」をご提出された場合は、賛成するものとみなします。

Q9.繰上償還に反対した場合、買取請求はできますか？

A9. 投資信託約款の規定に基づき、換金をご希望する反対受益者さまには販売会社でのご解約の方法をとっていただくこととし、買取請求を行うことはできません。

以 上